

議会だより

あさひむら



あさひ保育園餅つき、朝日小学校150周年記念事業、朝日村消防団出初式、二十歳のつどい



朝日村議会議員
北村 直樹

希望が持てる時代を

新年明けましておめでとうござい
ます。令和7年の新春にあたり議会
を代表して謹んで新年のご挨拶を申
し上げます。村民の皆様におかれま
しては、輝かしい新春をお迎えのこ
とをお慶び申し上げます。

昨年も前年から続く円安傾向。ま
た、世界情勢や経済施策を背景に原
油やガス、食料品や資材といった生
活に欠かせない必要品の価格高騰が
我々の生活面に大きく影響するな
ど、不安定な時代となっております。

こうした背景の中で小さな自治体
として村民の皆様は何ができるの
か、議会として何をしていくべきか
考える年であると考えます。

今年の干支「巳」は「努力を重ね、
物事を安定させていく」と言う意味
合いを持つ年とされており、議会
会としても村民の皆様の生活や福祉
向上のために頑張っている所存で
あります。

本年もどうぞ宜しくお願いいたし
ます。

も く じ

- 12月定例会 2
- 臨時会・全員協議会 3
- 委員会報告・行政視察 4
- 一般質問 村政に問う 5-9
- 議員活動報告・議会活動日誌 10-11
- 村民の声・我がむら再発見・編集後記 12

●「議会だより」第55号

発行日/2025年1月31日

発行/朝日村議会

〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村

大字古見1555番地1

TEL. 0263-99-2001 (代)

FAX. 0263-99-2745

Eメール: gikai@vill.asahi.nagano.jp

印刷/日本ハイコム株式会社

令和6年度一般会計 1億4,790万円追加 財政調整基金積立金 1億2,196万円等 総額42億3,620万円へ

12月 定例会

12/3 ~ 13

12月定例会は12月3日（火）に招集され、13日までの11日間開催された。
5日には社会文教委員会を開催、10日には一般質問を行い、13日最終日に上程されたすべての議案を原案どおり可決した。

- 承認1件……専決処分 一般会計補正予算
衆議院議員総選挙、小学校給食費修繕費等
- 条例2件……朝日村かたくりの里の設置及び管理に関する
条例の全部を改正する条例
朝日村地域包括支援センターの包括的支援事
業の人員等に関する基準を定める条例の一部
を改正する条例
- 予算6件……一般会計補正予算、特別会計補正予算（国保・
介護）、公営企業会計補正予算（スキー場・簡易水道・下水道）
- その他3件……損害賠償の額を定めることについて
工事請負契約の締結について等
- 意見書1件……福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に関わる国民健康保険の国
庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める意見書



〈主な議案〉

■一般会計補正予算 1億4,790万円追加

歳入 村税 2,562万円、地方交付税 3,891万円、繰越金 8,263万円、村債 3,000万円を増額
繰入金 3,000万円減額

歳出 財政調整基金積立金 1億2,196万円
介護保険特別会計操出金 836万円

■国民健康保険特別会計補正予算 8,150万円追加

一般被保険者医療給付費及び一般被保険者高額療養費の増額 6,388万円等

■介護保険特別会計補正予算 1億2,650万円追加

居宅介護サービス給付費等の増額 2,258万円等

■朝日村かたくりの里の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例

かたくりの里の施設に高齢者等交流センターを追加し、それに伴う利用料の追加等

■損害賠償の額を定めることについて

国の標準化に伴い、サーバー等関連機器契約の一部を解除するもの 387万円

■工事請負契約の締結について

針尾第二水源導水管布設工事 7,524万円 株式会社 岡谷組中信支店

■工事請負変更契約の締結について

朝日小学校長寿命化事業管理・特別教室棟改修工事 ひび割れ補修等の範囲増による
2億1,197万円（変更契約金額）

臨時会

1/15

法改正に準じた議会議員・特別職の期末手当、人事院勧告に準じた一般職員の給与改定の条例改正等

令和7年第1回臨時会は1月15日(水)に招集された。

主な内容は、法改正に準じた議会議員・特別職の期末手当の支給月数改正(年間+0.05月)の条例改正、人事院勧告に準じた一般職の給与改定の条例改正、主にそれに伴う補正予算であり、すべての議案を原案どおり可決した。

●条 例3件……朝日村議会議員の議員の議員報酬及び費用弁償当に関する条例の一部を改正する条例について
●朝日村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

●朝日村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
●予 算4件……一般会計補正予算

6,900万円追加
人事院勧告に準じた改定分約1,900万円、原新田ため池耐震性調査800万円、県営中間管理機構関連農地整備事業負担増350万円
介護保険特別会計補正予算、公営企業会計補正予算(簡易水道・下水道)
人事院勧告に準じた改定分
その他……財産の取得「公営住宅(村営住宅)1棟2戸」

全員協議会

10月9日

●朝日村診療所の進捗について

建設予定地への診療所の配置等についての説明。

●小水力発電事業について
(下段をご覧ください)

11月6日

●朝日村診療所の進捗について

診療所の名称公募要領について報告。
●針尾第二水源導水管布設替工事について
水源導水管布設替工事説明。

●朝日村観光施設等の指定管理について
観光レクリエーション施設指定管理者公募について説明。

12月13日

●第6次朝日村総合計画後期基本計画(素案)について
素案の概要の説明。

●2025財政計画について
令和7年度の財政計画・令和7～9年度の実施計画の概要説明。

●第4次環境基本計画素案について
基本計画素案と実行計画(案)についての概要説明。

1月15日

●各種計画の素案について説明「村に合った計画を」等、意見があった。

第6次朝日村総合計画後期計画、朝日村地域きずな計画、第3次朝日村教育大綱、朝日子ども計画、中央公民館・周辺施設再編計画

●賃貸型集合住宅整備事業の進捗について
スケジュール変更について説明。

●かたくりの里指定管理について
募集要領及び仕様書(案)についての説明。

●部活動地域移行関連支援事業について
令和7年度予算に計上予定の部活動移行に伴う補助金支援等についての説明。

●公民館周辺施設検討委員会について
検討委員会の進捗状況について中学生高校生を含む住民でワークショップを行った等報告があった。

●公民館周辺施設検討委員会について
検討委員会の進捗状況について中学生高校生を含む住民でワークショップを行った等報告があった。



10/9・11/6

小水力発電事業についての勉強会

10月9日、11月6日には、日本水力株式会社が村内で計画している小水力発電事業の概要等を全議員で聞いた。

日本水力株からは、会社概要や事業実績、村内で計画している事業の説明を受けた。すでに住民説明会等も行われているが議会でも話を聞くのは初めて。議員からはなぜ朝日村で行う理由、設備、鎖川(くわがわ)の環境や流量について等多数の質問があった。

今後も必要に応じて勉強会等を行っていきたい。(小林弘之)

12月定例会 一般質問 動画配信しています

こちらからどうぞ↓



生中継を見逃してしまった…
ちょっと見てみたい…

いつでも どこでも 何度でも 議員ごとご覧いただけます

P5～9 一般質問 QRコードからどうぞ

社会文教委員会報告 「陳情審査」

委員会は12月5日（木）に開催されました。今議会で当委員会に付託された陳情は『福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める陳情』1件でした。

現在、自治体が実施している福祉医療給付制度は自治体間で格差があるため、どこに住んでいても費用の心配がなく医療が保障されるように、国が医療費助成制度を確立すべきである。また、自治体が独自に障がい者等への医療費助成を行った場合、国民健康保険の国庫負担減額調整が行われているが、この国庫負担減額調整を廃止すべきであるとの陳情でした。

委員会は、国の制度であれば「自治体間の格差」が生じることもなく、この陳情の趣旨は十分に理解が出来ることから「採択すべきもの」としました。

また、9月議会で継続審議とした小水力発電計画に関する陳情書2件については、行政も検討中の事案であるため、委員会としても引き続き「継続審査」をしていくこととしました。

社会文教委員長 中村 文映

行政視察

12/13

使用電力54%は自前へ!!

村は現在脱炭素推進のため『ゼロカーボンビジョン』を策定するなど様々な事業に取り組んでいます。村民の皆さんは既にご存じでしょうか？ 役場庁舎の南側の屋根および隣接するファミリーマートの屋根に、数多くの太陽光発電パネルが設置されたことを。

議会では12月13日議会定例会最終日に、村が本年度取り組んだ太陽光発電設備設置事業の概要説明と、設置作業が終わったパネル及び蓄電池施設の見学を行いました。今回の事業は環境省の助成事業を活用し336枚（139.4kW）のパネルと蓄電池（290kW）1台を設置しました。



西日に輝く太陽光パネル

その結果、役場庁舎で年間使用する電力に対する発電・蓄電池

電力量は既設の発電施設50kWと新設導入された設備429.4kW合わせて54%を再生可能エネルギーで賄えることになり、年間93.3tのCO₂削減になるとの説明を受けました。

村の公共施設のポテンシャルは高く、今後小学校の屋根にも設置を検討しており、学校での使用に加え中央公民館等で供用し、自然エネルギーを活用していきたいと考えています。（中村 文映）

よりよい議会運営のため 議会に御意見をお寄せください 議会モニターを募集しています

何をやるの？ 議会だよりを讀んでの感想、定例会等を傍聴いただいたの感想をお寄せいただきます。

どうやって意見を寄せるの？ 年に2回会議を開催しています。お気軽に御参加ください。モニターと議員でざっくばらんに話をしています。

また、会議に出席しなくてもメールやFAXでお寄せいただいても結構です。



お申し込みはこちらから↓



よりよい議会運営のために
お力添えをお願いします。

一般質問

村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をたずねるものです。

こちらから動画をご覧ください。



ところが聞きたい 9議員17項目

小林 弘之 議員 (5頁)

- 1 食肉処理施設移転新設計画について

清沢 正毅 議員 (6頁)

- 1 現行保険証発行停止に伴う、朝日村のマイナ保険証移行への現状
- 2 朝日村消防団 DX 推進に消防団向けの災害支援システム「コミュたす」の導入検討を!

清沢 敬子 議員 (6頁)

- 1 情報公開について
- 2 御馬越小水力発電事業について

齊藤 正法 議員 (7頁)

- 1 地域計画の策定・管理について
- 2 カスタマーハラスメント対応について

中村 文映 議員 (7頁)

- 1 朝日小学校の『学びの改革』について
- 2 庁内検討会議と情報公開のあり方について

羽多野 美映 議員 (8頁)

- 1 地域とともに未来を切り拓く教育のビジョン—自らを耕し続ける人づくりのために
- 2 ポイ捨てを止める力をどう生み出すか、村民の行動と制度の役割

豊田 恵美子 議員 (8頁)

- 1 「鎖川三俣堰堤小水力発電所建設計画」について
- 2 三俣堰堤周囲の土砂堆積・流出及び野保沢の管理について
- 3 朝日村の CO₂削減を目的とする村の実施計画について

清澤 あゆみ 議員 (9頁)

- 1 災害に強い地域づくりのために必要な取り組みとは

古池 美佐江 議員 (9頁)

- 1 地区自治会存続への対応について
- 2 朝日村の環境に関する各条例と施行規則・環境基本計画と小水力発電設備設置の整合性について

答

立地条件が揃えば誘致したい



小林 弘之 議員

食肉処理施設移転計画について



問 全村民向け説明会が行われました。今回の説明会も非公開で開催されましたがなぜ非公開だったのか理由をお聞かせください。

企画財政課長 未だ不透明な内容で村民の皆様には不安を抱かせてしまっている現実があり現在情報提供について公社や県と相談をしている。

村長 検討しますが私はもう公開していくべきだと思っています。

問 朝日村、村民にとってどのようなメリットがあるのか。新施設においてどのような改善がされるのか。

企画財政課長 税収や雇用場所確保に繋がればと考えています。

村長 外から見れば大きな倉庫、オフィスビルのイメージ完全密封施設の中で全て行われ外から見えない。

問 視察の計画はあるのか。

村長 今の近代的な施設を見てもらう希望者に対して説明会、現地を見ていただくプログラムも必要。

問 残された建設地以外の土地利用についてどうお考えか。

村長 残った所も工業団地としていい企業に来てもらう努力をしたいと思います。我々が暮らしていく上でも県民の大事な施設、朝日村の知名度も上がる。県民に感謝される、そして税も入る、非常に大事な施設であり、私は朝日村のためになる施設になると思う。



企業進出計画想定場所



清沢 正毅 議員

村のマイナ保険証への移行はスムーズか？



答 不安な声もあるが丁寧な説明に心掛けていく

問 現行保険証の発行が12月2日から停止となったが、相変わらずマイナ保険証の利用が低迷している。

この背景には国の制度に対する国民の根強い不信感と、制度が一層複雑化して利用者の誤解や医療現場での混乱も生じている。

朝日村のマイナカード保有率とマイナ保険証登録率および利用率は何か。

保険証発行停止に伴って村民から不安の声が届いてないか。

資格確認書等は確実に発行され、新しい制度への移行はスムーズに行われているか。

住民福祉課長 マイナカード保有率は77・7%マイナ保険証登録率61・4%後期高齢者医療45・3%、利用率は12月で12・1%後期高齢者医療は9月で12・2%である。

村への問い合わせは「現行保険証が使えなくなってしまうのか」「い

つまで使えるのか」「期限が切れてしまった以降どうすれば良いのか」といった問い合わせが数件届いている。

現状移行には特段問題はないが、村としては今後もマイナ保険証利用を進めていくが、現在は切り替えの期間として捉え、国保の保険者としてまた後期高齢者医療の窓口として、加入者への周知や役場窓口での丁寧な説明に心掛けていく。



清沢 敬子 議員

情報公開のメリットとは



答 村民が正しい認識を持ち、共に行政を考える機会が作れる

問 朝日村公文書公開条例の改正が必要ではないか。

企画財政課長 情報公開は村政に対する村民の理解と信頼を深め、村民参加による開かれた村政の推進には不可欠だと思う。今後は村としても開示請求による公開文書の範囲の見直しや、現在条例に盛り込まれていない積極的な情報公開の部分を近隣自治体との状況を踏まえながら実施に向け検討する。

問 融和集会の内容を公開すべきではないか。

企画財政課長 村長と相談する中で項目ごと「このよう意見があった」



村のHP・広報誌

「村としてこのように回答した」と公開することにより、村民は、それらを見て理解できる。また重複した質問が省略でき、更に深い対話が進められる。その様なことを踏まえて検討する。

御馬越小水力発電事業について

問 今後の住民説明会の開催は。

建設環境課長 説明会の時期については、村からの設計変更依頼や事業者の考えを踏まえ、まとめ次第開催する。

問 事業を進めていく上で、地元住民の同意・漁協の同意・村長の意見書が必要だと認識しているが、漁協の同意がなくても進めていいのか。

建設環境課長 日本水力から許認可申請自体は漁協の同意がなくても可能と聞いている。村として事業が漁業に与える影響もあり、漁協の同意は必須で県としても許可は難しいと判断すると思う。



齊藤 正法 議員

地域計画とは？



答 大切な農地をどの様に守るか話し合い、地域の希望する方向を明らかにする計画。

地域計画について

問 今後のスケジュールは？

産業振興課長 1月中に農業委員会などの農業関係者の意見を伺う。その後、計画案を役場で2週間公告・縦覧し、令和7年3月末までに村HPにて公告を行う。

問 地域計画に含まれない圃場への対応は？

産業振興課長 今後は所有者にアンケートなどを行い実態把握に努めて行く。

問 地域計画策定後の進捗管理は？

産業振興課長 地域農業の実情に応じて随時見直していく事が重要。利用状況を把握しながら取り組みの具体化に向けた協議を行う。

カスハラについて

問 カスハラとみられる行為はあるか？



総務課長 具体的な調査は行っていない。威圧的な態度や過度なクレームを経験した職員はいると捉えている。

問 カスハラ対応に関するマニュアルは？

総務課長 朝日村不当要求行為等対策要綱を定めている。暴力行為による不当な要求、威圧的な言動により職員に嫌悪の情を抱かせ不当な要求を強要するなどの行為を想定している。

問 カスハラ防止の啓発活動は？

総務課長 顔写真入りフルネームの名札から名字のみの名札に変更を検討している。

答 多様性の時代に合った教育に変えていく



中村 文映 議員

「学校改革」に村は今後どう取り組むのか

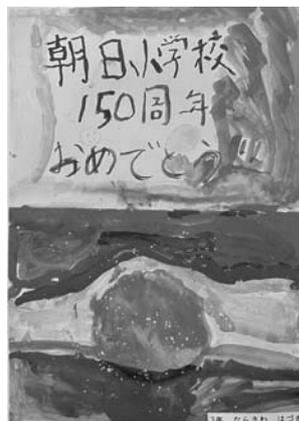


問 「今のやり方のままでは限界」と県教委は現状分析しているが、教育長はどの様に捉え、どの様な学校を目指すのか。

教育長 現在は当たり前の事が当たり前でない多様性の時代。学校の今までのやり方は手詰まりとなつている。これまでの教育は教師が一方的に教え指示する方法だったが、今後は子どもの新しい発想、自らの力で主体的に課題解決に取り組むことが必要。そのために
1. 教師主導型の授業から抜け、問題解決型の学習に切り替えていく。
2. 朝日村の持ち味を生かした、地域に根差した学習を目指す。

問 改革に取り組むスケジュール感は

教育長 今後「学校改革」に多くの学校が取り組むことになる。朝日小学校も進むべき方向性を一本化するための検討を1年間行い、令和8年には目指す方向を決め実践に取り組んで行くことになると思う。



素敵な開校150周年ポスター

問 不登校児への対応は

教育長 学校に対して不応があるとするれば、子どもを変えていくという事ではなく、学校が変わる方向へ変えなくてはいけないと思っている。

反対が多い小水力発電問題に決着を付けたら如何か

村長 今ある小水力発電計画とは別に、将来にわたって村が取り組む有効な再生可能エネルギーとしての小水力発電を研究していきたいので、もう少し時間を頂きたい。



羽多野 美映 議員

地域に根ざす 教育ビジョンは？



答 子供たちの学びの幅を広げる教育を地域で下支えする。

問 大きな課題である部活動の地域移行も地域との連携を進めるうえで重要。朝日モデルとしてどうするか？

教育長 子供たちの居場所となる環境をどう整えるかがポイント。自分の「好き」を続けておられる村内の方へ協力を求めて行く。

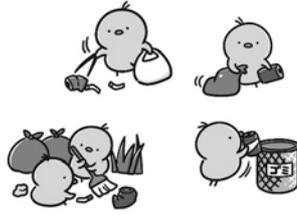
問 子供たちが地域に自然に溶け込み安心して参加できる選択肢を増やすための方策は？

教育長 今ある朝日村の中に子供たちが身を置いていくことは、村の根っこにあること。目の前にあることに親しみをもち、触れていく活動ができるようなことも含めて今後検討していく。



ポイ捨てを抑制する力をどう生み出すか？

建設環境課長 パトロールを行い、ごみの回収も行っている。ポイ捨てがある箇所は啓発看板を設置、村内企業や団体、役場職員により、村内の清掃活動をしている。



問 村民全体で環境の価値や保全の必要性を深く理解し、それを落とし込むことが重要では？

建設環境課 村外からもごみを持ち込むことは意識の向上は住民だけではない。職員の美化活動もしっかりと見ていただき、村全体で連携し意識改革ができるような取組をしていく。



豊田 恵美子 議員

三俣堰堤 小水力発電への決断を



答 時間をかけて協議を尽くし、折り合える所を見つけていきたい

問 「涸れ川の鎖川に何故、御馬越の今の自然のまま、集落の真ん中に導水管を埋めるのか」など、御馬越地区住民の疑問に、村は十分な説明を行い、適切な対応だったか。

村長 疑問点に答え、適切だった。

問 水利権取得許可の「村長意見」について、村民の声を聞くべきだ。

建設環境課長 地元住民の利益を守り、環境の配慮などバランスのとれた判断が重要である。



三俣堰堤 11月22日

問 現在の計画の中止を要望する署名、村内653筆、周辺地域を合わせた、1244筆の署名について。

村長 非常に重く受け止める。

問 土砂流出堆積の激しい三俣堰堤で小水力発電事業は可能か。

村長 技術的に可能である。

問 漁協は3年以上反対している。計画の中止を求める村民の声を受け止め、事業撤退を促す決断を。

村長 企業が鎖川に進出したいのであり、村が考えていることではない。事業者がどう考えるかだ。



清澤 あゆみ 議員

災害に強い 地域づくりとは



答 地域の特性を知り災害リスクを学び防災力を高める。

問 お助け台帳、更新の確認は？
総務課長 作成状況を把握するためデータの提出を依頼中。そこで更新の確認をしていく。

問 備蓄品の整備状況、西洗馬防災センター備蓄倉庫への搬入状況は？
総務課長 納入待ちの商品もあるが整備は一旦完了。備蓄倉庫への搬入も10月に終了している。備蓄品の内容は今後写真にて公開していく。備蓄品の見直しは随時行い倉庫内の地震対策も再度確認していく。

問 災害対応の体制づくり、関係者との連携は？

総務課長 災害時の拠点場所については今後再度見直しをして検討していく。現在締結中の企業へは引き続きお願ひし、他企業とも必要に応じ協体制が取れば活用させていただくよう検討をしていく。

問 地域防災力向上のために必要な取り組みとは？



総務課長 防災アドバイザー、防災士会の協力のもと防災講習会の実施、避難所運営訓練、小学生対象の防災学習会等実施していきたい。女性対象の研修会も検討していく。防災組織における女性の参画も促進していく。

教育次長 防災に関する公民館講座の企画や講師に専門家を起用し共催していきたい。



古池 美佐江 議員

自治会存続への対応は？



答 地区の負担軽減を図っているが、簡単には解決策が見つからない

問 村と地区との関わりを改善するために、役場の職員が地区を担当し困りごとなどを聴いたり、相談にのることは出来たか。

企画財政課長 以前にも地区担当制をしたり集落支援員が地域の実情を聴く活動をしてきた経過があるが地域の問題を解決するまでには至らない面があった。地域の声を聞くことは良いことなので、今後検討していきたい。



朝日村の環境に関する各条例・環境基本計画と小水力発電設備設置の整合性について

問 建設予定地は、土砂災害危険区域になり抑制区域ではないのか。

建設環境課長 取水施設建設箇所は土砂災害特別警戒区域であるが、河川区域内であるので河川法に基づき県が建設許可を判断することになる。

問 小水力発電所が建設される場所の景観についてどのように考えているか。

村長 この小水力発電は、堰堤から全量取水する設計になっており、堰堤の滝はなくなるといふことに私は今気が付いた。堰堤からの滝がなくなることは景観上良くないと思う。日本水力株式会社に変更を折衝していきたい。

10/8 山形村朝日村議員研修会

山形村朝日村議会議員研修会が10月8日山形村農業者トレーニングセンターで開催されました。

両村議会議員全員が参加し、はじめに議員一人ひとりが議員活動への抱負や考え方など自己紹介を兼ねて行いましたが、一人持ち時間を2分と決めていましたが、予定時間を大幅に費やしてしまうほど皆さんそれぞれに熱弁を発していました。

引き続き元千葉県流山市議会議長で現総務省 DX アドバイザーの森亮二さん

と、CoCo Consulting (株)の後藤守江さんお二人を講師にお迎えし、「今こそ変革！議会 DX と議会基本条例による変革のすすめ」をテーマに講演をいただきました。

従来議会は「改革」を求めてきましたが、今後は「変革」が必要だとの事、種々の課題提起と今後の DX を活用した議会活動変革への着眼点を学びました。

(清沢 正毅)



全議員が抱負を語る

議員 活動報告

地域を目で見えて聞いて参加して

議員は、議員活動日誌のとおりたくさん
の諸会議・行事・研修及び視察を行っています。
このコーナーでは、主な活動について報告し
ます。

11/1・11/12 東筑摩郡議長会 県・国へ要望

東筑摩郡議長会では、東筑議員大会で承認された要望を携え、国・県へ要望活動を行いました

11月1日は県庁で関副知事・長野県建設部長に要望し、関副知事から「東筑摩郡の課題解決は長野県の発展に大きく寄与する。各課と連携してしっかりと対応をしていきたい」と力強いお言葉をいただきました。

また11月12日には国会議員会館で、長野県選出の下條みつ議員・中川宏昌議員に要望書を提出しました。議員から「先の衆議院選挙にて国民から付託を受けた。地方自治課題に向き合いしっかりと関係



関副知事に要望

機関に働きかけ課題解決に向けて取り組む」とお言葉を頂きました。村の課題を長野県そして国に届けることがここで暮らす我々の幸せに繋がるものであると確信しています。

引き続き、こうした活動を通じて村の発展の為に尽くしてまいります。
(北村 直樹)

議会活動日誌

10月

1	火	県議長会先進地視察（1～2日）
2	水	あさひ保育園運動会
7	月	全国朝日会懇親会
8	火	朝日山形議員研修会 10P
9	水	全員協議会 3P
11	金	松塩筑施設組合議連
13	日	松本山雅ホームタウンデー
18	金	県議長会定期総会
19	土	鎖川河川愛護会秋の河川清掃作業
20	日	朝日村民ゴルフ大会表彰式・懇談会
21	月	松本広域連合議会運営委員会
22	火	山形村開村150周年式典
25	金	松塩地区施設組合定例会 朝日小学校開校150周年記念音楽会
26	土	あさひスキークラブ定期総会
28	月	第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会 鉢盛中学校発表会
30	水	松本広域連合議会視察
31	木	松塩筑木曾老人福祉施設組合議会運営委員会

11月

1	金	東筑摩郡議長会県要望 10P
2	土	文化祭オープニングセレモニー
3	日	令和6年度表彰式
5	火	広域連合議会
6	水	全員協議会 3P
7	木	総合計画審議会
8	金	県議長会県要望
12	火	長野県地方自治政策課題研修会 11P 東筑摩郡議長会国要望 10P
13	水	全国議長研修会
15	金	中学校組合議会
16	土	朝日小学校開校150周年記念式典 OB 野球閉幕式
20	水	シルバー人材センター設立40周年記念式典
21	木	松塩地区木曾老人福祉施設組合議会
22	金	JA 野菜生産販売実績検討会
25	月	県議長会国要望（25～26日まで）
26	火	議会運営委員会

12月

1	日	スキー場安全祈願祭
3	火	12月定例会開会 本会議・全員協議会 2P
5	木	常任委員会 4P
6	金	県議長会役員会
10	火	本会議 一般質問 P5～P9
13	金	本会議閉会・全員協議会 行政視察 P3～P4
14	土	あさひアイススケート場安全祈願 朝日村青少年育成・人権講演会
16	月	松本地域公共交通会議
17	火	JA 懇談会
19	木	第2次地域福祉計画第2回策定委員会 総合計画審議会
20	金	議会力向上委員会視察 11P
26	木	保育園餅つき

11/12 長野県地方自治政策課題研修会

11月12日に山口大学大学院の瀧本浩一氏による研修会が行われた。内容は「地域の防災・減災力をどう底上げするか？」防災訓練の際、想定・検討したものを検証することの必要性。自主防災活動の中で日頃の地域活動と防災活動を一緒にできれば活動の持続が模索できるという。例えば三九郎の時に消火訓練をすとか、地域の運動会の中に防災をテーマにした競技、毛布担架リレー、バケツリレーを盛り込む等。また公民館講座のITスマホ講座により気象・防災情報取得方法の習得。DIY講座により家具類固定方法の習得。料理教室にて炊き出し方法の習得等。やり方次第で身近なところから防災力の向上につながる取り組みができることを学んだ。

（清澤 あゆみ）

議会力向上委員会

12/20 生坂村議会研修会

12月20日、生坂村議会議長を招き、議会改革に関する研修会を開いた。

生坂村議会は平成29年に議会改革検討委員会を発足、令和3年までに89回の検討を重ね、「議員報酬を55歳以下30万円」と関連条例を改正、20年ぶりに選挙が行われた。アンケートや懇談会などの手法にも工夫を凝らし、村民との距離を縮める努力を議員全員で取組んだ。議員資質の面で課題が生じ、議員一律21万7000円に再度の改正があったのは記憶に新しい。しかし4年間の取組が礎となり、状況に即した柔軟な変革が可能となったのは間違いないと感じた。「思い立ったら即、行動！」というキャッチコピーのもと、改革に取り組む姿に刺激を受けた。

（羽多野 美映）



村民との距離を縮める努力を

村民の声



入二区長
齊藤 猛さん

大いに笑って区に活気を

入二区長としてまもなく二年を終わろうとしている。区長として特に何をするでもなく、ただ朝日村で一番小さな区を見つめてきた。小さな区とは文字通り戸数も人口も他地区と比べた場合をいうのであって、地区住民全員を見つめ易いという利点はある。それは同時に汗をかきかき自転車で帰宅する子供の姿がいつの間にか見られなくなったり、あるいはかつて「入三」として活気を有し、要であった入三分館・第三分団が今はない寂しさがある。消防だけは第四分団の管轄内に置いていただき、安全安心が保たれているのは有難い。活気のある所に人は集中すると私は思う。活気とは笑いであろう。区民に望むは年々老いても笑いは年をとらないはずだから大いに笑って区に活気をもたらして欲しいと思う。

我がむら再発見!

村内の施設やイベントに議員が訪問して
その取組や要望を聞く地域密着のコーナー

第23弾 「戸部商店」 戸部商店の移動販売車がやってきた!



ドライバーの曾根さん

10月より毎週金曜日に村内をまわっています。ドライバーは元役場職員の曾根克仁さん。顔見知りの方も多いと思います。戸部商店は公設市場内で惣菜店を営み、安曇野市、松本市でも移動販売をしています。取扱商品は富成伍郎商店(豆腐製品)・きらく精肉店(精肉)・パンの木(手作りパン)・高峯(おやき)・魚よし(鮮魚)・青果商(野菜・果物・菓子等)・サトウ(漬物)・戸部商店(惣菜)。いずれも専門店の商品を目で見て手に取って会話も楽しみながら選べます。移動販売を通じて見守りと防犯にも協力していきたいというのは戸部商店の方針。順路は、11時→大原桜台から古見方面 正午→役場駐車場 12時半→中央公民館 13時→旭ヶ丘から大石原・御馬越方面 14時→小野沢方面 15時→中組・上組・三ヶ組・原新田方面 16時→一ノ沢方面 天候、道路状況により前後する場合あり。オレンジランチの日は時間が前倒しになります。利用希望の方は住民福祉課まで。



(清澤 あゆみ) 販わう移動販売車

編集後記

今年度村では「第6次総合計画後期基本計画」を策定しています。将来像は「人・自然・産業が輝き、夢・希望・笑顔あふれる朝日村」ですが、現在様々な課題問題に直面しています。私たち村議会議員も未来を見据え、朝日村の豊かな自然と地域の魅力を活かし、持続可能で活気ある村を実現するために様々な取り組みを進め、住む人々が誇りを持てる地域づくりを目指してまいります。

(小林弘之)



▲こちらから朝日村議会のホームページを御覧いただけます

発行責任者
議長
編集委員
委員長
副委員長
委員
員

北村 直樹
小林 弘之
羽多野美映
中村 文映
清澤 あゆみ
清澤 正毅